

経営改善の取組



これまでの取組

札幌市では、これまで様々な「コストの縮減」や「下水道使用料以外の収入を増やす」取組を実施してきました。ここでは、その一部を紹介いたします。

① 人件費の削減

年間約
33億円
の削減

※1997年と2023年を比較

	職員数	人件費
1997年	683人	68億円
2023年	459人	35億円
削減数	224人 (33%減)	33億円 (49%減)

主な取組

- ポンプ場の運転管理を水再生プラザからの遠方監視とすることで人件費を抑えました。
- 水再生プラザの運転管理業務を、民間企業に委託し業務を効率化しました。

② 資産の有効活用

約**12億円**の収入

※1997～2023年までの累計額

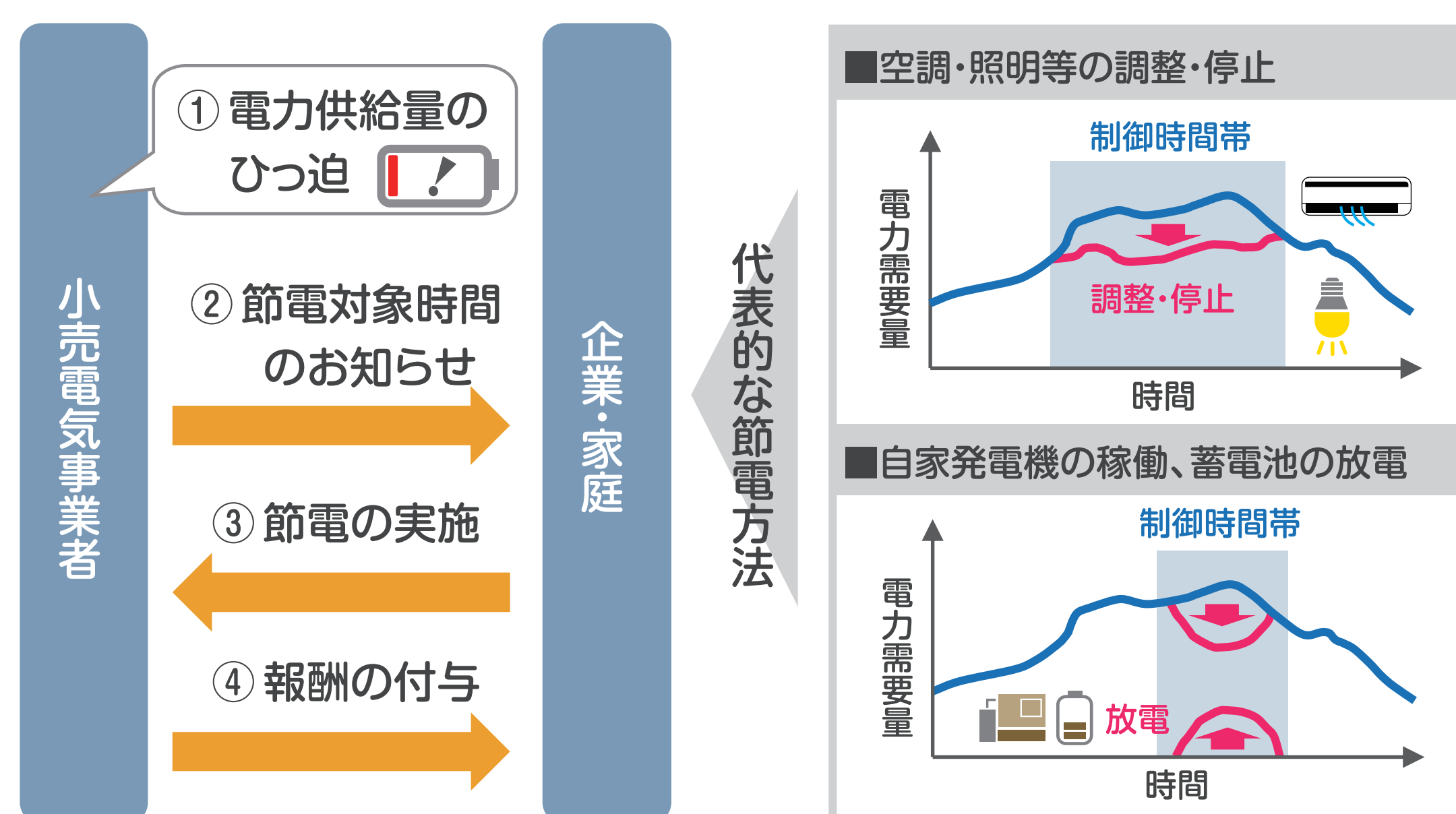
主な取組

- 不要となった資材の売り払いや、未利用地の売却や貸付
- 光ケーブル利用などに伴う下水道管使用料

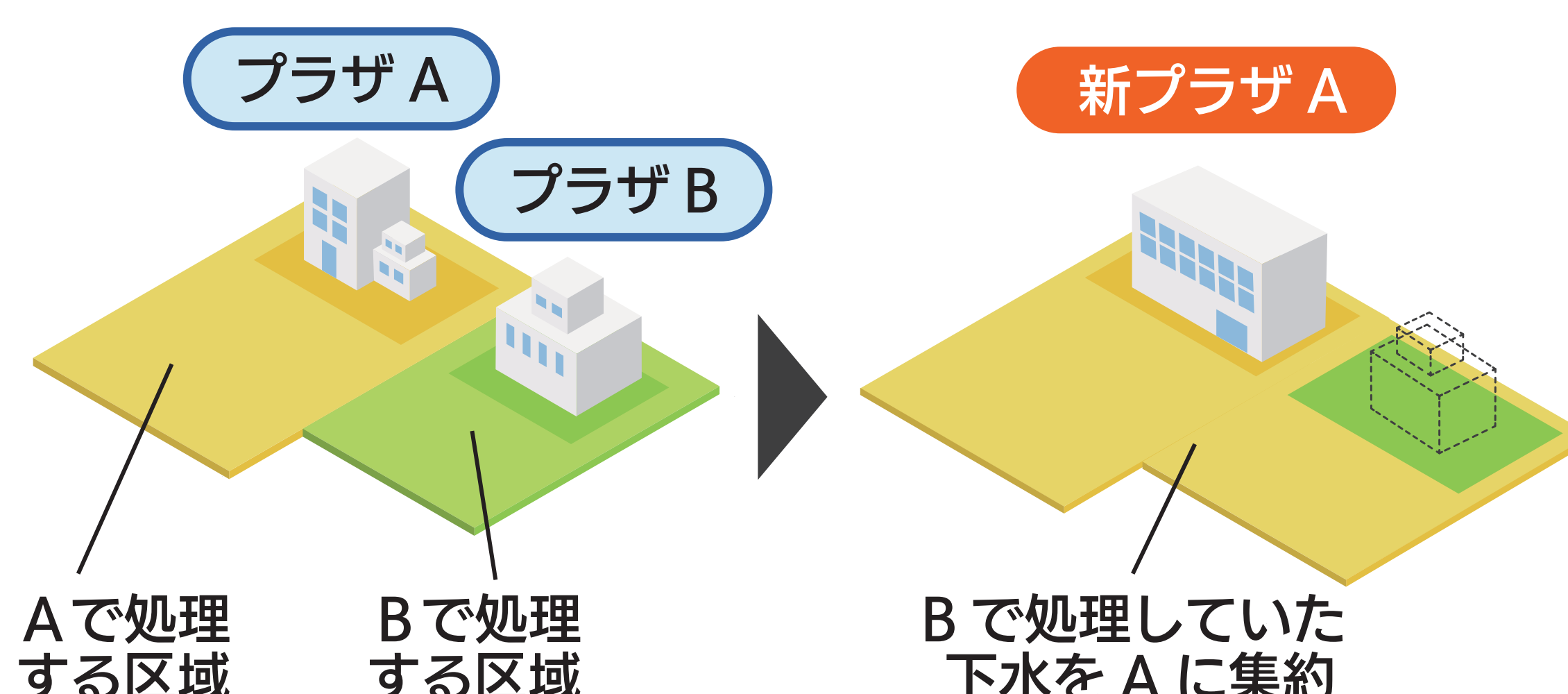
これからの取組

さらなる業務の効率化によるコスト縮減や、下水道使用料以外の収入確保など、持続可能な下水道サービスの提供に向けた取組を進めていきます。

- 水再生プラザの運転管理の委託や、ICTを活用した運転管理の効率化などの取組
- 新たな収入確保の取組として、デマンド・レスポンスの導入
- そのほか、将来の人口減少に応じた施設のダウンサイジングや統廃合などの再構築の調査・研究を行うなどの取組



デマンド・レスポンスのイメージ



水再生プラザの統廃合による規模適正化